

連日ニ亘リ爭奪我ラ線邊ニシテ同日迄確保シタ
ルモ同部隊ノ損耗之カ為極メテ大ナルモアリタリ
四月十九日未明ヨリ敵ノ各種大砲織烈ニ射撃ヲ開
始シ附近為メニ白煙ニ包ミテ展視不能トナレリ
特ニ嘉敷仲間ノ間ニ於テ然リ
二ノ三時以後射撃中止ト同時ニ嘉敷附近ニハ約
甲輜ノ我軍歩兵ヲ伴ヒ攻撃ニ来ル
同大隊ハ寡兵ニ克ク之ニ應ヒ先ツ歩ヲ射ラ分離歩
兵ニ對シテ多大ノ損害ヲ與ヘタリ然レ共戰車ノ主力ハ
陣内ニ侵入シ同大隊主陣地ノ背後ニ迫リ大砲放射
ヲ以テ盡滅セシメ計レリ
同大隊ハ山本大隊ト共ニ果敢ニ肉攻ヲ以テ之ヲ攻撃
其約半致ラ搦生シ日攻ニ至ル迄死斗ヲ續行遂ニ
之ヲ退セリ

十八十九日夜独歩ノ十三大隊ハ戦力消耗大ニシテ整理スルノ要アルヲ
以テ嘉敷附近ヲ師團命令ニ依リ2300⁸640⁸(山本大隊)ニ移震
仲間前田附近ニ後退セシム

十九日一ノ二十五日以然各部隊正面ノ戦斗激烈ヲ極メ
各部隊ノ損失大ナルモアリ
又六十四旅團ニ移震セル西海岸方面及嘉敷附近ニモ
同様全線ニ亘リ敵ハ遂次ニ我カ陣内ニ地歩ヲ固メ西海岸
方面ニ於テ嘉敷ニアリタル十三大隊ノ背後タル山本連玉
棚原西原附近ニアリテハハ大隊及十三大隊連日本部
及主陣地ニ馬車攻撃ヲ受ケ十一大隊方面ハ彼我ハ
乱レタル状況ニシテ各部隊ノ連絡得ラズ各據点ニ
於テ各個ニ我斗ヲ遂行ス止ラテ得タル状況トナリタル
ヲ以テ軍命令ニ基キ二十四日夜仲間東西線ニ之ヲ
収縮セリ同時ニ於テ各部隊ノ配置左ノ如シ

旅団司令部 首里平良町
独立歩兵大隊 前田東南側 同十三大隊 仲間北側
台地 (砲火大隊配屬) 同十三大隊 首里北側 独立機
関銃大隊 前田南 独立連射砲大隊 独立高射
砲大隊 独立高射砲八十一大隊 首里平良町

戰鬥經過 其二

四月二十三日各部隊ハ新配置ニ転ス
同日頃ニ於テ敵狀左ノ如シ
西海岸方面ハ牧港ニ敵進出シ同方面ヨリ仲間高地方向
及阿波茶方面ニ迫リテアリ中街道方面ハ高山附近
ニ地歩同タル敵ハ更ニ其ノ地歩ヲ推進仲間台地北側ニ
進出 棚原方面ハ概シ同地東西ノ線ニ其ノ第一線アリ
東海岸方面ハ街道ニ沿テ進出シ来リ其ノ先頭與那

原北方ニ到達セリ特ニ西海岸方面ノ敵ノ行動殆發
ニテ連日後方ヨリスル物資ノ輸送ノ為ニ車輛ノ往復
大都市ノ主要街道ノ如ク頻繁ナリ
敵航空部隊及艦船部隊ノ砲爆連ノ重兵ハ首里ナリ
連日敵機ハ拂墜ト共ニ飛来シ首里附近ノ我が陣地
ニ對シ猛烈ニ爆撃ヲ及復 亦我が兵ヲ認メバ數機ヲ以テ
之ヲ機銃掃射ス為ニ晝間於テ兵ノ移動等只
損害ヲ招クシタル為ニ實施セラレズ
艦砲及陸上各火砲ハ晝夜別ナク折々選バテ射撃ヲ
連續的ニ續行夜間ハ照明彈ヲ使用シ晝間ニ等
ニ其ノ狀態之ニ及シ旅団ハ嘉敷 西原 棚原附近ニ
於テ約半數ノ兵力ヲ失ヒ兵器破損等ニ及ル之又半減
ニ其ノ戦力半以下
右ノ如キ状態ニ在リ鑑ミ担任戰鬥地域ヲ收縮セシメ

ラレ首里市ノ防衛及仲間附近ノ担当ヲ命ゼラル
同時首里外部北側防衛ヲ担任シテリタル独歩十三大隊
(配属部隊ヲ含シ)及首里市内防衛ノ軍衛兵及六十二師
団三兵隊同衛兵ヲ其指揮ニ入ラシメラレ又仲間附近三
名師団韃重隊平良町北側二十四師団歩兵第三五聯
隊ノ指揮ヲ命ゼラレタリ

二 四月二十六日敵ハ我ガ兵力收約ヲ察知セルモノ如ク一
舉ニ新配備近ニ接近ス

三 四月二十七日 我ニ近接セル敵ハ依然猛烈左射毒ニ膚
接シ攻毒ニ来リ特ニ前田北側高地附近及仲間部落
方面ノ压力大

四 二十八日頃ヨリ前田北側ノ敵ハ高地防備ノ独歩十三大隊ノ
一部ヲ馬乗りトナリ同地防備部隊之ト死力ヲ死守ス
サレド守兵刻々減ジ三十日頃全ラ玉碎シ遂ニ同地ヲ突

破セラル 又仲間部方面モ戦半利アラズ部落及北方

高地ノ一部ヲ敵手ニ委ネルニ至リ

五 四月末日独歩十三大隊(配属部隊ヲ含シ)ハ前田備
仲間及正面ヨリ逐次敵ニ近接セラレ包围セラレテ狀光

トナレリ

六 五月一日軍ハ其ノ全カヲ舉ゲテ五月四日ヲ期シ總攻毒ニ
転スルヲ企圖ス為ニ攻勢ノ據莫トモ言フベキ仲間北方ノ
確保ハ極メテ重要トナルヲ以テ旅団ハ同地守備ノ各
部隊ニ其ノ固守ヲ命ズ

七 五月二―三日敵ノ攻毒依然右流ニシテ仲間高地方
面ハ更ニ其ノ背後ニ敵進出独歩十四大隊ト連絡ヲ
遮断独歩十三大隊ハ同高地ニ孤立セルモ同地確保ハ
攻勢移転シテ最重要地タルヲ以テ部隊長以下一丸ト
ナリ四方ヨリ攻撃ヲ受ル敵ト死斗ヲ及復具ノ都度